



情報ページ

Carnaby's Cockatoo

Calyptrorhynchus latirostris ニシオジロクロオウム



雄 (左) 雌 (右)

別名

Carnaby's Black Cockatoo, Short-billed Black Cockatoo.
動物学者で自然主義者の Ivan Carnaby氏 (1908–1974) を慕い名づけられた。

脅威的な事

“Listed Endangered: Schedule 1 – Western Australian Wildlife Conservation Act”.

“Endangered: under Federal *Environmental Protection and Biodiversity Conservation Act*” これらに記載されている。

この属は、ときどき、または頻りに湿地範囲で見られるが、乾燥部では部分的に少数で見られる。繁殖期以外に松の植樹林で、通常つがい、または小グループで行動。希に大きな群れや5000羽ほどの集団を形成。その数は、生息地の破壊喪失で、50年間の中で減少した。特にスワン海岸平野にて、広範囲におよぶ麦耕作地の開墾、バンクシア、チュアート森林の伐採で、群れは生息地を失った。

形態

体長 53–58 cm. 体重500–790 g.

上くちばしがBaudin's Cockatooより幅広く短い。

雄:羽毛の色はほとんど茶色がかった黒、その羽の後方部は濁った白色でホタテ貝の形に見える。耳を覆う短い羽も濁った白色で、尾羽には中間を境に両脇に白い線が入っている。くちばしは黒く、ピンクの目の周りの肌は露出している。

雌:ほぼ雄とかわらないが、耳を覆う羽毛は黄色かかった白でくちばしは灰色をおびた白か灰色で先端が黒、目の肌は灰色。

鳴き声

短く “weeyou-weeyou” “weeloo-weeloo” と群れの呼び出し声。

繁殖

大部分は麦耕作地帯で、古い滑らかな樹皮のユーカリの樹洞に巣を作る。卵を1個か2個、樹洞に木屑をひき、7月から12月に産む。通常若い1羽のみが育てられる。卵の孵化は雌のみがおこなう。

寿命: 25–50 年。

分布

州南西部の北は下方Murchisonと東はNabawa, Wilroy, Waddi Forest, Manmanning, Durokoppin, Lake Croninと、Condینگup に分布。西オーストラリア州独特の種類。

生息地と食餌

西オーストラリア州の森林地帯と多少乾燥している内陸部ブッシュに生息。繁殖期以外は群れで海岸方面の松の植樹林やバンクシアの森林地帯を散策。食物は花、花の蜜、Banksia, Dryandra, Hakea, Eucalyptus, Corymbia, Grevillea, 松の実, アーモンドとマカダミアの木、りんご果実やりんごジュース、柿や昆虫の幼虫を好む。



雄



雌

属の脅威

直接的な数の減少は、土地の開墾と特に麦耕作地帯での生息地の縮小、樹洞を伴う木の喪失、樹洞をめぐる他の鳥、Galahやcorellas, ヨーロピアンみつばちとの競争、山火事、車、トラックによる接触事故などである。

参照

Johnstone, R.E. and Storr, G.M. (1998). *Handbook of Western Australian Birds*. Volume 1 – Non-passerines (Emu to Dollarbird). Western Australian Museum pp. 276–280.

Johnstone, R., Kirkby, T., Stone, P., Minton, C. (2005). White-tailed Black-Cockatoos: Identification Challenges and Changes in Distribution and Status, and links with a Community Program – Cockatoo Care. In Gole, C. (Ed.). *Carnaby's Black-Cockatoo Future Directions Symposium 2003*. Birds Australia WA, Perth.

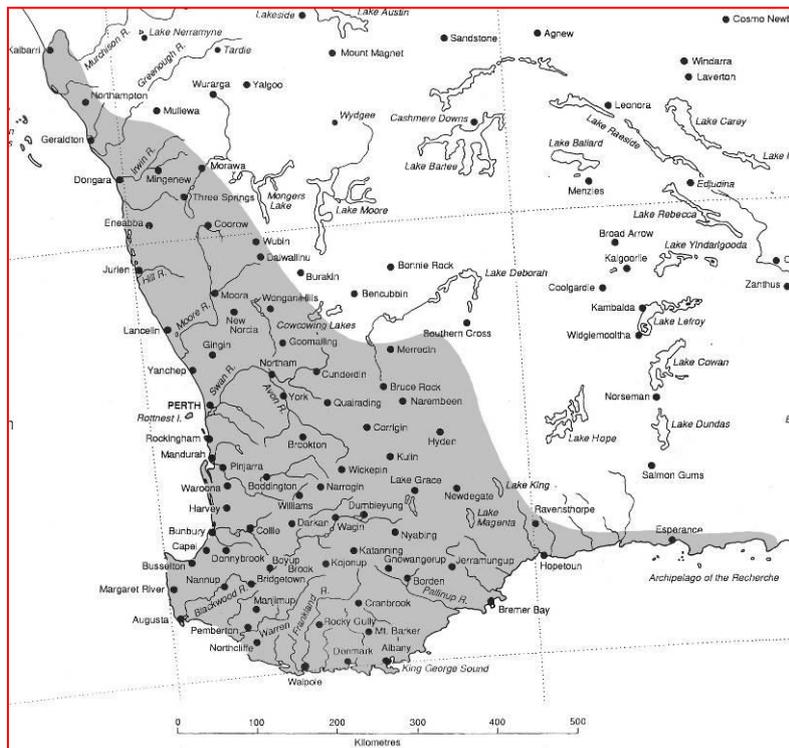
訳 : Kimiko.O



雌ニシオジロクロオウムの巣



ニシオジロクロオウムが食べたマリーの実



西オーストラリア州南西部における現在の分布